



スマホ・ケータイ安全教室を実施！

校長 田山 満則

7月5日(火)、インターネットや携帯電話に関するトラブル事例を知り、その対策を考え、メディアリテラシーを身に付ける学習を行いました。

コロナ禍の中、遠隔会議システムを使用して、広島市からNTTドコモの藤井様と岩国警察署から落合様を講師にお招きして行いました。

最初に警察の落合様からは、中高生に多い事案は、インスタグラムやLINEなどのSNSによるトラブルであることを聞き、安易にネット上に自分や友達の写真等の個人情報をアップしてしまうと、完全に回収することは不可能であることを学びました。

NTTの荒木様からは、人が取り入れる情報の割合は、視覚情報 55%、聴覚情報 38%、言語情報7%という「メラビアンの法則」を用い、メールのやりとりは、顔の表情や声の抑揚を感じ取ることができない言語情報のみなので、誤解を招くことが多く、「友達に確認する」「文字のみで判断しない」などの注意点を学びました。

6月13日(月)からの一週間、中学校区の児童生徒は、ご家庭にご協力いただき、「メディアコントロールチャレンジ」を行いました。

本校の傾向として、メディア使用時間が長い生徒ほど、就寝時間が遅くなっています。すなわち、睡眠時間が短くなり、学校生活や健康にも悪影響が出る可能性が高くなります。

7月下旬から、夏休みに入ります。ご家庭でメディア利用のルール等について、改めて確認していただき、有意義な夏休みにしてほしいと願っています。また、気になることがございましたら、1学期末の保護者懇談会において、ご相談ください。

メディア関連記事を本校ホームページの「保健だより(7月)」に掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。
(表題右側のQRコードからも検索できます)



上手に NO！ を伝えるには・・・。

6月22日(水)、心の教育を充実させる「グローイング・ハート・プロジェクト(GHP)事業」の一環として、本校のスクールカウンセラーである五十嵐早紀先生から、相手を傷付けない断り方などについて学びました。

仲良しグループで、長時間続いた会話から抜きたいときに、どのように言い出さかなどの事例について考えました。

ポイントは、「せっかくなんだけど」「すぐには答えられないんだけど」などの“クッション言葉”を使うことで、人間関係を悪くすることなく、柔らかく伝えることも大切であることを確認しました。

中学校を卒業すると、生活基盤が広がるとともに、交友関係も多様となります。自分の軸をしっかり持ち、相手の気持ちを考えながら言動できる人になってほしいと願っています。



五十嵐先生(左)と3年生

7月の月頭集会

7月の月頭集会では、社会科担当の奥原先生が、地域学習の一貫として、全校生徒に話をしました。

奥原先生の長年の研究テーマは「身近な地域を知る」です。2回目となる今回は、錦川清流線沿線の文化や産業、自然についてでした。

今回のお話から、知らないこと、訪れたことがない所が多いことに気付いた人も多いことでしょう。

授業内容にはない大切なことを学びました。



快拳！！田村さん

本校と錦清流小、宇佐川小の校務員としてお勤めいただいている田村さんが、広島県が主催する第10回新県美展、絵画系で「大賞」を受賞されました。

田村さんは、日頃、学校の広い敷地の草刈りなどの環境整備の業務を献身的に行っていただいております。

休日には、油絵を描く、すてきな趣味をおもちです。

本校の生徒玄関に飾ってある油絵「磨崖仏」は、田村さんからの寄贈です。



絵画系 大賞「- 気配 -」



田村 末人さん

